

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 静岡市立由比こども園

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☒ その他（ こども園 ）

所在地 〒421-3103
静岡市清水区由比377の1

E-mail yuikodomo@city.shizuoka.lg.jp

Website www.yui-en.ednet.jp

児童生徒数 男子 23名 女子 24名 合計 47名
 児童・生徒の年齢 3歳～6歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☐ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☐ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☒ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

①由比こども園での取り組みについて

海、山、川に囲まれた本園で、地域の方のご協力を得て、毎年子どもたちは様々な感動体験を味わっている。年間を通して、人形店見学やお茶会、みかん狩り、デイサービス訪問、漁港での桜えびドーナツ購入等を行っており、それらがすべて子どもたちの遊びの中に生きている。

春には由比漁協青年部の方から桜えびロケットをいただき、子どもたちはその動きや大きさ、生態等に興味を示していた。

夏には年長児が由比漁港で漁船にのせていただき、ヒラメの稚魚放流を行った。海の上を走る漁船で浴びる潮風が気持ちよく、「水（海水）がしょっぱいよ！」「海がキラキラしてる！」と大喜びの子どもたちの姿があった。

秋の運動会では春に目にした桜えびや飼育しているカニ、イモリになってリズム活動を楽しんだ。また、地域の方からいただいた大漁旗を使用してのバルーンもここ数年続いており、これからも続けていきたいと考えている。運動会後にはグループの友達と一緒に、大きな桜えびロケットやイモリ迷路を作った。協同的な活動の中にも、地域の特産や今年度の体験が生かされていることを感じた。

冬の劇遊びにもこれまでの活動が生きていた。大好きな絵本をもとに、桜えびやしらす、イモリ等を登場させ、“由比ならではの”劇を友達とつくり上げていった。

地域の方々が“由比の子は由比で育てよう”“子どもはみんな宝だ”と、協力を惜みず、いつも温かな目で子どもたちや園活動を見守ってくださるおかげで、子どもたちは自分の地域を知り、愛着をもつようになる。これからも、地域の方や由比の豊かな環境への感謝の気持ちを忘れずに、“由比が大好き！”と子どもたちが心から思えるような教育保育活動をしていきたい。



見て！！きらきらしてる！

海の水って、しょっぱい！！

②活動状況の発表について

平成27年 8月 「海洋夏季研修会」 会場：東京

『地域の特色を生かした保育実践

～駿河の海の向こうにはどんなお国があるでしょうか～』

平成27年 9月 「UNESCO創設70周年記念 ユネスコ活動研究大会」

主催：ユネスコ協会連盟

会場：日本平ホテル

『地域のひと・もの・こととのかかわりを通して

～静岡市立こども園の取り組みから～』

東豊田こども園、由比こども園合同発表

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ☐ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（

）